

創立 38 周年記念式典挨拶

学長 石川 清

本日ここに学校法人佑愛学園創立 38 周年記念式典を職員・学生の皆さんとともにお祝いできますことを学長として嬉しく思っています。

まず、創立記念日を迎えるに当たって、この厳しいコロナ禍にあって本学園のために日頃頑張っていたいただいている短大、クリニック、こども園の職員の皆さんに感謝をしたいと思います。また、同じくコロナ禍にあって色々な行動が制限される中、現在、学業に頑張っている学生の皆さんにも敬意を表したいと思います。

学生の皆さんは、今年はコロナ禍による影響で毎日不安な憂鬱な日々を過ごされたばかりでなく、非常に不本意な大学生活を強いられたことと思います。特に、本日この会場に参加している一年生の皆さんは入学式も中止となり、いまだ本来の楽しい大学生活を送ることができないことは、学長として非常に心苦しく思っています。これからも当分は“with コロナ”の生活を余儀なくされ、本来の大学生活に戻るの難しいかもしれません。しかし、幸い、本学は極小規模の大学であり、きめ細かい個別指導が本学の歴史と伝統ですから、その利点を生かして、学生の皆さんがコロナ禍を乗り越えて、学びをしっかりと継続できるとともに、大学生活をエンジョイできるように、教職員一丸となって支援をしていきたいと思っています。

今回のコロナ禍の問題で学生の皆さんも我々職員も多くのことを学びましたし、まだ、これからも学ぶことは多いかと思えます。医療従事者を目指す学生の皆さんにとっては大きな試練であると同時に、貴重な教訓となるものと思っています。予測の立たない未来に向かって、どのように行動すればいいのか、何を目指せばいいのか、迷うことは多いかと思えます。しかし、学生・職員ともそれぞれ各個人が、目指すべき目標をしっかりとって、周りの雑事に流されることなく、自ら主体的な行動をとることによって、必ず道は開けるものと確信をしています。学生の皆さんは、近い将来、OT・PTとして地域医療を担う貴重な人材となるために頑張っていたいただきたいと思えます。また、職員の皆さんは、この佑愛学園がこの地域になくってはならない存在となるために頑張っていたいただきたいと思えます。

さて、本学園の現在ある姿は、我々の先輩や現在在籍している職員や学生の皆さんが長年にわたって作り上げてきた歴史と伝統の上に出来上がったものです。本日の創立記念日は、創立記念を祝うだけでなく、創立の原点に立ち返って、過去の歴史や伝統を振り返り、本学園の将来のビジョンをしっかりと見据

えたいと思います。それによって本学園全体の士気が高まり、モチベーションが高まるきっかけになることを期待しています。

まず、短大の目指すビジョンですが、本学には今年設立 10 年目になる専攻科という制度があります。専攻科とは、短大卒業後 1 年間研究活動を行いながら、指定のカリキュラムを修了することによって 4 年制大学を卒業したのと同じ学士の資格が得られる制度です。短大卒業後直ちに入学する場合と、一度社会に出て働きながら学ぶ場合がありますが、今までに多くの卒業生を輩出してきました。来年度から、新たな魅力的なカリキュラムを加えて、専攻科をより活性化していくことになりました。

学校法人佑愛学園のビジョンについては、本年 4 月、こども園が開園し、佑愛学園は短大、クリニックに加えこども園の 3 つの組織となりました。今まで、本学は短大単体としての改革・発展を遂げてきました。しかし、今後、本学が特色を持った存在価値のある大学になるためには、短大、クリニック、こども園の 3 つの組織が、佑愛学園の名の元に、三位一体となって地域や行政と強固に連携し、地域にしっかりと根差した学園になることです。佑愛学園の目指すべき新たなビジョンとは、お年寄り、学生、こどもの三世代が、お互いを思いやり助け合いながら、日々日常の生活の中で交流する姿です。この三世代が交流する世界を創ることで、この地域になくってはならない存在になることです。それによって、短大、クリニック、こども園それぞれの組織にも付加価値が付くこととなります。これからますます進む少子高齢化の時代に、この三世代が交流する世界を創ることで「地域のお年寄りを元気にする」というビジョンは地域のモデルケースになると確信をしています。本学園は 2022 年に創立 40 周年を迎えますが、創立 40 周年に向けてこの三位一体の組織創りというビジョンを達成したいと思います。

最期になりますが、皆さん一人一人が本学園の職員・学生であることに誇りを持ち、志を高くして、日々の業務、教育、研究、学業等に専念し、さらなる飛躍することを願っています。佑愛学園としても三位一体の組織創り、さらには、佑愛学園がこの地域になくってはならない存在になるという明るい将来を目指したいという希望をお伝えして挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。